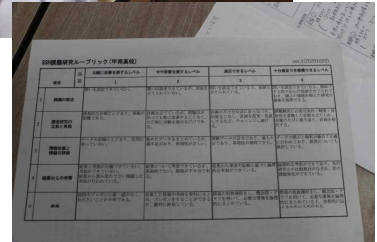
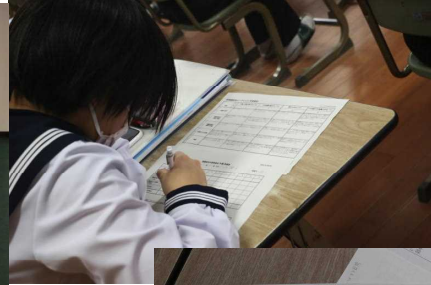




担当：1年5組（七夕・牟田），2年4組（重信・中間）

伝える研究への熱い想い！



▲2年生のプレゼンの様子

▲ループリック（評価表）

9月30日（木）に2年生の，10月1日（金）には1年生の課題研究中間発表会予選がそれぞれありました。自分たちでアンケートや実験を行い，その結果をスライドにまとめて発表しました。コロナ下の分散登校，時差登校があり，練習があまりできないままの発表会になりましたが，どのグループもグラフや写真を用いて，5分の発表時間で成果を分かりやすくまとめていました。「各グループとも自分たちのテーマにそって研究していてすごかった（1年）」ようです。

SSH委員インタビュー

今回は，2年生の物理分野で研究を行っているグループにインタビューを行いました。

①研究テーマは何ですか？

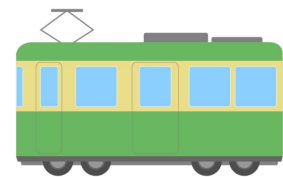
「電車の騒音被害を減らす研究です。」

②発表の際に意識したことはありますか？

「一番は詳細に伝えることです。聞き手が疑問に思うような所には説明を加えるなどして，わかりやすい発表になるように心がけました。」

③発表を終えての感想を教えてください。

「発表原稿作りや発表練習をもっとすれば良かったと思いました。時間配分がうまくできず，テーマと研究動機の説明だけで半分以上の時間を使ってしまいました。次のプレゼンに活かしていきたいと思います。」



（2年 中間・1年 牟田）

鹿児島発!〜医療向上の女性プロ



▲熱心にきく聴講生たちと講師の先生方

10月8日(金)に「第1回リケジョに学ぶ最新の科学講座」がありました。今回は鹿児島市宮之浦町にある「新日本科学安全性研究所」の白石綾さんを講師にお招きしての講座でした。

ワークショップではパセリなどの色素の成分を抽出する実験を行いました。乳鉢ですりつぶしたものに、ジエチルエーテルを加え液状にし、ペーパークロマトグラフィーに滴下したものを、展開溶媒に浸し、その色相から成分分析を行いました。実験を通して、実験方法の理解を深め、これからのSSH活動に生かせるようなことを多く学ぶことができました。

白石さんのお話の中で、「好きなものが得意であるとは限らない」という言葉が印象的でした。今後は苦手なものでも



▲実験に用いた器具と試料 (2年 重信)

興味を持ったから、積極的に好奇心や探究心をもって挑戦してみたいと思います。

目指せノーベル賞! ②

みなさんは日本人で初めてノーベル賞を受賞した方を知っていますか? 戦後まもない1949年に、日本人として初めて、ノーベル物理



学賞を受賞した湯川秀樹博士です。湯川博士は、原子核を構成する陽子と中性子は、「中間子」という粒子をやりとりすることで生まれる力で結びついていると、「中間子」が発見される前から、存在を予測していました。その存在が確認されたため、受賞しました。

湯川さんは幼い頃にお兄さんと、「物質は一体どれくらいまで小さくすることができるのか」というテーマで大論争を交わしたことがあるそうです。あえて海外に留学せずに独学を続け、自由な発想でノーベル賞を受賞しました。

(1年 七夕)